

オープンかつ国際的なマスターズスポーツ大会の参加者の消費行動の研究
 — 「ミズノおもてなしカップジャパン 2019」参加者の調査結果から見えた特徴 —
 大阪成蹊大学 マネジメント学部 教授 田村 匡（たむら ただし）
 大阪成蹊大学 マネジメント学部 教授 海野 大（うんの まさる）

（フルペーパーから主要箇所を抜粋）

表-1 ミズノおもてなしカップジャパン 2019 の概要

タイトル	ミズノおもてなしカップジャパン 2019
主催	ミズノ株式会社, Mizuno OMOTENASHI Cup Japan 実行委員会
後援/協力	由利本荘市, 由利本荘市体育協会, 公財)秋田県体育協会, 由利本荘市商工会, 秋田県バドミントン協会/東北シニアバドミントン連盟
日時/場所	日時: 2019年5月3日(金)~5日(日) / ナイスアリーナ (秋田県由利本荘市石脇字田尻野18)
競技種目	バドミントン。男子ダブルス, 女子ダブルス, 混合ダブルス 合計年齢が70歳以上~130歳以上の年齢により7つのクラスに分かれる。
参加人数	日本から200人(秋田県内39人, それ以外161人), 海外から107人
その他	使用言語は, 審判, 場内アナウンス等も英語が基本。

表-3 アンケート調査の概要

調査対象	競技者として参加している者に対して現地にて依頼し承諾していただいた方
調査手法	無記名で質問用紙に記入回答する形式。日本語, 英語, 中国語(簡体字)を準備。会場への来場者に手渡しで適宜配布し, 本人がその場で回答を記入したものをその場で回収。一部は翌日会場で, あるいは後日メールにて回収。
調査日時	2019年5月3日(金)~5日(日) 大会期間中。
調査場所	ナイスアリーナ (秋田県由利本荘市石脇字田尻野18)
調査項目	フェイスシート(5問): 性別, 年齢, バドミントン経験年数, 居住地, 個人年収等 大会について(3問): 情報入手経路, 満足度, 改善点・意見等 大会前後の旅行について(2問): 旅行(予定含む)の有無, 旅行先(予定)の地域 消費支出額(支出6項目×時期6場面): 「aバドミントン関連, b飛行や長期列車等の交通費, c近距離/レンタカー等の交通費, d宿泊関連(泊数), e飲食関係, fお土産や参加費その他の支出」 「大会前支出, 会場までの交通費, 大会参加宿泊費, 会場内支出, 会場周辺支出, 大会終了後支出」

○アンケート調査の集計結果

回収数 65人(日本居住者43人, 海外居住者22人)

有効数 45人(日本居住者33人, 海外居住者12人)

・近隣参加者(D1グループ): 秋田県内居住者を対象。9人。

・遠方参加者(D2グループ): 日本国内で秋田県以外の居住者を対象。24人。(ただし1人は大会前後の旅行の欄については無回答のため, 仮説4の検証についてのみ他の23人分を使用)

・海外参加者(Fグループ): 海外居住者を対象。12人。

表-4 各グループの旅行の有無と消費支出額の平均（一人当たり，単位円）

	近隣参加者 (D1)	遠方参加者 (D2)	海外参加者 (F)
総数	9	24	12
大会前後の旅行の割合	11.1%	34.8%※	91.7%
a 競技関係支出	8,111 (10,140)	4,542 (7,533)	7,417 (10,704)
b 長距離交通費	0 (0)	23,667 (27,903)	115,683 (103,340)
c 近距離交通費	1,111 (3,143)	9,333 (10,601)	22,074 (29,435)
d 宿泊費	3,622 (6,778)	33,750 (30,608)	55,758 (33,969)
e 飲食関係支出	3,193 (3,428)	13,271 (11,377)	23,892 (31,995)
f おみやげ等支出	6,056 (7,805)	5,708 (6,675)	10,208 (17,606)
合計	22,093 (21,188)	90,271 (52,256)	235,033 (189,874)

(1) 仮説1についての検証

表-5 長距離交通費と宿泊費についての検定結果

	b 長距離交通費			d 宿泊費		
	D1-D2	D1-F	D2-F	D1-D2	D1-F	D2-F
P 値	0.000	0.002	0.007	0.000	0.000	0.042

※P 値のみを表示（小数点以下4位を四捨五入）。棄却域0.05以下を○で囲んだ。

(2) 仮説2についての検証

表-6 競技関係支出，近距離交通費，飲食関係支出，おみやげ等支出についての検定結果

	a 競技関係支出			c 短距離交通費			e 飲食関係支出			f おみやげ等支出		
	D1-D2	D1-F	D2-F	D1-D2	D1-F	D2-F	D1-D2	D1-F	D2-F	D1-D2	D1-F	D2-F
P 値	0.191	0.444	0.217	0.001	0.019	0.094	0.000	0.028	0.153	0.456	0.249	0.214

※P 値のみを表示（小数点以下4位を四捨五入）。棄却域0.05以下を○で囲んだ。

(3) 仮説4についての検証

遠方参加者 (D2) については、「大会前後に旅行した（予定含む）」サブグループ (sub1) と「大会前後に旅行しなかった」サブグループ (sub2) に分類し，消費支出額のすべての項目 (a～f) について t 検定を行った結果，6 項目すべてについて片側 5% 検定では「グループ間の支出額に差はない」という帰無仮説を棄却することはできなかった。

表-7 「大会前後に旅行した」グループ (sub1) と「旅行しなかった」グループ (sub2) についての検定結果

	a	b	c	d	e	f
P 値	0.464	0.144	0.459	0.181	0.292	0.094

※P 値のみを表示（小数点以下4位を四捨五入）